

平成 31 年度（令和元年度）

事業報告

令和 2 年

公益財団法人 五島美術館

I. 庶務事項

1. 理事会および評議員会の開催

<第 105 回理事会>

令和元年 6 月 4 日午前 11 時より第 105 回理事会を公益財団法人五島美術館本館集会室において開催、下記の議案を審議、可決した。

- 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告ならびに収支決算等について
- 第 2 号議案 評議員候補者の選任ならびに推薦について
- 第 3 号議案 監事候補者の選任ならびに推薦について
- 第 4 号議案 定時評議員会の招集について
- 報告事項 職務の執行状況について

<第 99 回評議員会>

令和元年 6 月 20 日午前 11 時 30 分より第 99 回評議員会を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

- 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告ならびに収支決算等について
- 第 2 号議案 評議員の選任について
- 第 3 号議案 監事の選任について

<第 106 回理事会>

令和 2 年 3 月 10 日午前 11 時より第 106 回理事会を公益財団法人五島美術館本館集会室において開催、下記の議案を審議、可決した。

- 第 1 号議案 令和 2 年度事業計画書ならびに収支予算書等について
- 第 2 号議案 定款の一部変更について
- 第 3 号議案 評議員会の開催および招集について
- 報告事項 職務の執行状況について
新型コロナウイルス対策の対応状況について

<第 100 回評議員会>

令和 2 年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認および定款の一部変更の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和 2 年 3 月 21 日付にて、第 100 回評議員会として同案を可決した。

- 審議事項 令和 2 年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認について
定款の一部変更の承認について

2. 官公庁への届出

- ・令和元年 6 月 28 日 平成 30 年度事業報告ならびに収支決算等の提出…………… 内閣府
- ・令和元年 7 月 18 日 変更の届出(評議員 1 名の辞任・就任、監事 1 名の辞任・就任)
…………… 内閣府
- ・令和 2 年 3 月 26 日 令和 2 年度事業計画書ならびに収支決算書等の提出…………… 内閣府
- ・令和 2 年 3 月 29 日 変更の届出(定款の一部変更)…………… 内閣府

3. 重要文化財の指定

大東急記念文庫蔵の「続華嚴経略疏刊定記卷第五」は、令和元年 7 月 23 日付にて文化財保護法の規定により重要文化財に指定された。

4. 寄附受領

< 寄附金 >

受取寄付金総額…………… 147,500,000 円

※[内訳] 143,843,124 円を一般寄付金として受入れ
3,656,876 円を特定寄付金として受入れ

令和元年 9 月 30 日

・東急株式会社…………… 88,000,000 円

※[内訳] 85,195,794 円を一般寄付金として受入れ
2,804,206 円を特定寄付金として受入れ

令和 2 年 3 月 31 日

・東急株式会社…………… 59,000,000 円

※[内訳] 58,647,330 円を一般寄付金として受入れ
352,670 円を特定寄付金として受入れ

令和 2 年 1 月 25 日

・墨林茶会…………… 500,000 円

※全額を特定寄付金として受入れ

< 美術品等受贈 >

令和 2 年 1 月 21 日 < 大東急記念文庫 >

・岡 雅彦氏…………… 言語遊戯関係近世資料 279 点
評価額 279,000 円

令和 2 年 1 月 21 日 < 大東急記念文庫 >

・名児耶 明氏他…………… 蜷川親当和歌短冊他
評価額 6,000 円

5. 設備投資等

・「紫式部日記絵巻現状模写作品」の装丁

<実施内容>

「紫式部日記絵巻現状模写作品」の装丁を実施(株式会社松鶴堂)

2,804,206 円(消費税込)

<実施時期>

令和元年 6 月 30 日

・収蔵庫(五島美術館ならびに大東急記念文庫)防塵防黴施工(IPM)

<実施内容>

五島美術館収蔵庫、大東急記念文庫書庫等の防塵防黴施工(株式会社フミテック)

580,284 円(消費税込)

<実施時期>

令和元年 7 月 23 日～7 月 25 日

・パソコン・プリンターの購入

<実施内容>

機器老朽化と職員採用に伴うパソコン・プリンターの購入(株式会社カントー)

985,132 円(消費税込)

<実施時期>

令和元年 7 月 23 日

・会計基幹ソフトの更新・データ移行と会計用パソコンの購入

<実施内容>

機器老朽化と業務効率円滑化を図るため会計ソフト等更新(株式会社カントー)

1,154,520 円(消費税込)

<実施時期>

令和元年 7 月 26 日

・庭園・菖蒲池付近・隣地境界排水管の整備

<実施内容>

境界 U 字溝の整備ならびに高橋邸への分水設備の撤去(三栄造園株式会社)

77,670 円(消費税込)…総額 260,280 円のうち当館負担分

<実施時期>

令和元年 8 月 20 日～8 月 25 日

・展示室展示ケース点検・修理

<実施内容>

本館展示室 1・2 の展示ケースの点検・修理(株式会社丹青社)

432,000 円(消費税込)

<実施時期>

令和元年 8 月 26 日

・庭園池および雨水の排水管の高圧洗浄

＜実施内容＞

排水管等の高圧洗浄による隣地への漏水対応(三栄造園株式会社)

275,000 円(消費税込)

＜実施時期＞

令和元年 11 月 6 日

・古典籍の購入

＜実施内容＞

「吉原細見」〈文化 13 年正月刊〉1 冊の購入(株式会社朝倉屋書店)

33,000 円(消費税込)

＜実施時期＞

令和元年 12 月 11 日

・温湿度計の更新

＜実施内容＞

展示室および収蔵庫設置用温湿度計 10 台の購入(関東港業株式会社)

295,020 円(消費税込)

＜実施時期＞

令和 2 年 3 月 16 日

以上、設備投資等合計金額 6,636,832 円(消費税込) ※一部は経費計上

6. 美術品の修復

＜美術品修復項目＞

・重要文化財「即休契了墨蹟 餞別偈」修復費用総額……………2,183,178 円

※国(文化庁)と東京都から補助金 総額 1,740,000 円受領

〔内訳〕 国(文化庁) 1,200,000 円／東京都 540,000 円

7. 諸制度の整備・改定等

・就業規則の変更(令和元年 7 月 16 日)

「働き方改革関連法案」施行に伴い就業規則第 38 条・年次休暇の条項に「5 日間の年次休暇取得」に関する 2 項を追加

・定款の一部変更(令和 2 年 3 月 21 日)

平成 27 年 5 月 1 日に施行された「会社法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」による法改正等を反映して、当財団と理事(代表理事と業務執行理事

を除く)、監事との間で、損害賠償責任に関する責任限定契約を締結できるようにするため、定款・第 6 章「役員および会計監査人」に第 29 条「責任の免除又は限定」の条文を新設

8. その他

- ・「日本ギフト大賞」特別賞「文化交流促進賞」受賞

平成 31 年 4 月 23 日に日本ギフト大賞選考委員会(選考委員長:永井多恵子氏)から 2019 年度の「日本ギフト大賞」特別賞「文化交流促進賞」を受賞

美術・芸術部門で「美術館の文化交流促進」で功績があったとして阪急文化財団の逸翁美術館と五島美術館が共に受賞

- ・「東急グループ第 1 回環境・社会貢献賞」の「奨励賞」を受賞

令和元年 7 月 30 日に「国宝 源氏物語絵巻4K 映像の常時上映」について「社会貢献」部門で「奨励賞」を受賞

- ・大井町線「Q シート」車内ギャラリーに「五島美術館名品集」ポスターを掲出

大井町線で運行が始まった有料座席指定サービス車両「Q シート」の車内において平成 31 年 4 月 3 日～令和元年 7 月 11 日、令和元年 11 月 3 日～令和 2 年 3 月 23 日の 2 回(約 7 カ月間)にわたり、車内ギャラリーの窓上スペースを活用して「五島美術館名品集」ポスターを掲出

- ・二子玉川駅デジタルサイネージ掲出

昨年秋に開催した特別展「美意識のトランジション」の告知活動の一環として、二子玉川駅の階段・エスカレーター部分に設置されたデジタルサイネージ 55 インチ 30 面に令和元年 10 月 28 日から 11 月 3 日まで展覧会情報を掲出

- ・台風 19 号の影響による「臨時休館」

台風 19 号の影響により首都圏の交通機関に計画運休が実施されるなど社会的な混乱を回避するため、顧客と職員の安全を考慮し、「秋の優品展・『国宝紫式部日記絵巻特別展示』」期間中の令和元年 10 月 12 日、13 日の両日、「臨時休館」を実施

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による「臨時休館」

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関する文化庁ならびに東京都等の指針に基づき総合的に判断した結果、「中国の陶芸展」会期中の令和 2 年 3 月 2 日から会期末の 3 月 29 日まで「臨時休館」を実施

「臨時休館」に伴い春の「茶会」(令和 2 年 3 月 12 日～15 日)などの休館期間中の主催イベントも中止

以 上

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館(公益目的事業①)

1. 展示事業

1-1. 入館者数

*単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1 [館蔵]春の優品展—和と漢へのまなざし—〈平成31年4月6日[土]—令和元年5月6日[月]〉	6,770	761	7,531	332	7,863	28	281
2 [館蔵]近代の日本画展〈5月11日[土]—6月16日[日]〉	7,921	600	8,521	201	8,722	32	273
3 [館蔵]夏の優品展—動物のかたち—〈6月22日[土]—8月4日[日]〉	4,822	569	5,391	113	5,504	38	145
4 [館蔵]秋の優品展—筆墨の躍動—〈8月31日[土]—10月20日[日]〉*	5,119	486	5,605	196	5,801	42	138
5 [特別展]美意識のトランジション—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸— 〈10月26日[土]—12月8日[日]〉	8,930	1,432	10,362	785	11,147	38	293
6 [館蔵]茶道具取合せ展〈12月14日[土]—令和2年2月16日[日]〉	6,946	803	7,749	240	7,989	45	178
7 [館蔵]中国の陶芸展〈2月22日[土]—3月29日[日]〉*	769	55	824	30	854	8	107
合計	41,277	4,706	45,983	1,897	47,880	231	207

※令和元年10月12日・13日は、大型台風19号の接近に伴い、臨時休館した。

※令和2年3月2日～29日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館した。

1-2. 特別展

[特別展]美意識のトランジション—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸—

・期間＝令和元年10月26日[土]—12月8日[日]

・特別鑑賞会・レセプション＝令和元年10月25日[金]……………出席者103名

・講演会＝11月9日[土] 今井 敦氏(東京国立博物館学芸企画部博物館情報課長)

「日本人好みの中国陶磁と明末の中国文化」……………聴講者94名

・講演会＝12月1日[日] 大木 康氏(東京大学東洋文化研究所教授)

「明末の文人趣味と出版文化」……………聴講者76名

1-3. 大東急記念文庫創立70周年記念特別展示

大東急記念文庫の創立70周年を記念し、「展示室2」において文庫のコレクションをテーマごと4部に分けて、それぞれ約20点を特別展示し、記念イベントを開催した。

[第1部]大東急記念文庫の精華—絵画、古写経、書物、名家の筆跡—

〈平成31年4月6日[土]—令和元年5月6日[月]〉

[第2部]海外との交流—無学祖元、王陽明の墨跡や高僧像—

〈5月11日[土]—6月16日[日]〉

[第3部]書誌学展Ⅰ 経籍訪古志の名品を中心に—国宝「史記」をはじめとする漢籍—

〈6月22日[土]—8月4日[日]〉

[第4部]書誌学展Ⅱ 近代そして現代へ—嵯峨本、五山版の名品と古辞書—

〈8月31日[土]—10月20日[日]〉

・講演会＝9月8日[日] 岡崎久司氏(元早稲田大学客員教授)

「文庫と日本文化」……………聴講者 35 名

・ワークショップ＝10月17日[木] 長山桂三師(能楽師 観世流シテ方)

「能楽入門ワークショップ—源氏物語から広がる能の世界」……………参加者 68 名

(美の友会会員限定、事前抽選申込)

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 調査・研究

- ・特別展等に際して、館外所蔵作品の調査を行った。
- ・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。
- ・収蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。
- ・以上の成果の一部については、展覧会図録および研究紀要にて報告。

2-2. 美術品の保存・補修

- (1)重要文化財「即休契了墨蹟 餞別偈」一幅の修理事業を行った(2ヶ年計画 初年度)。令和元年度の修理費は2,183,178円であるが、国(文化庁)から1,200,000円、東京都から540,000円の補助を受けた。
- (2)「南蛮砂張棒の先水指」の経年劣化した御物袋の緒つがり紐を入替補強。
- (3)作品貸出に際し「唐物肩衝茶入 銘安国寺」、「唐物文琳茶入 銘吹上」、「唐物円座肩衝茶入 銘利休円座」に付属する包み裂及び仕覆・御物袋などを応急修理した。
- (4)収蔵庫の保存環境改善のため総合的な除塵防黴施工(IPM)を実施した。

2-3. 出版物

- (1)『美意識のトランジション—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸—』

- ・判型＝A4判 ・発行日＝令和元年10月25日
- ・編集＝五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝公益財団法人五島美術館
- ・頁数＝158頁(カラー137頁、図版90点所収)

- (2)『五島美術館研究紀要』第8号

- ・判型＝A4判 ・発行日＝令和2年3月31日
- ・編集＝五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

・三井記念美術館・龍谷大学龍谷ミュージアム

……………「過去現在絵因果経断簡(益田家本) 耶舎長者出家願図」／計 1 件
「日本の素朴絵—ゆるい、かわいい、たのしい美術—」(期間=令和元年 7 月 6 日～11 月 17 日)

・横浜美術館 ……………重要文化財「癡絶道冲墨跡 偈頌」他／計 3 件

「原三溪の美術 伝説の大コレクション」(期間=令和元年 7 月 13 日～9 月 1 日)

・サントリー美術館 ……………重要文化財「鼠志野茶碗 銘 峯紅葉」他／計 3 件

「美濃の茶陶」(期間=令和元年 9 月 4 日～11 月 10 日)

・広島県立美術館 ……………重要文化財「梅花小禽図 伝 馬麟筆」他／計 3 件

「広島浅野家の至宝—よみがえる大名文化—」(期間=令和元年 9 月 10 日～10 月 20 日)

・遠山記念館 ……………重要文化財「高野切古今和歌集(第一種) 伝 紀貫之筆」他／計 2 件

「古筆招来—高野切・寸松庵色紙・石山切」(期間=令和元年 9 月 14 日～10 月 20 日)

・茨城県近代美術館……………「松並木 横山大観筆」／計 1 件

「茨城国体開催記念 企画展示<横山大観>」(期間=令和元年 9 月 28 日～10 月 27 日)

・茶道資料館 ……………「唐物文琳茶入 銘 吹上 遠州所持」他／計 3 件

「『三冊名物記』—知られざる江戸の茶道具図鑑—」(期間=令和元年 10 月 3 日～12 月 8 日)

・京都国立博物館……………重要文化財「佐竹本三十六歌仙絵 清原元輔像」他／計 4 件

「流転 100 年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」(期間=令和元年 10 月 12 日～11 月 24 日)

・八代市立博物館未来の森ミュージアム……………「唐物肩衝茶入 銘 安国寺」／計 1 件

「もののふと茶の湯—利休から織部・忠興・康之へ—」(期間=令和元年 10 月 25 日～12 月 1 日)

・NHK プロモーション(会場:松屋銀座)……………「唐物円座肩衝茶入 銘 利休円座」他／計 4 件

「利休のかたち—継承されるデザインと心」(期間=令和元年 12 月 27 日～令和 2 年 1 月 20 日)

計 11ヶ所 25 件

2-5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館収蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(令和元年度は 146 件・のべ 238 点)。

3. 普及事業

3-1. 普及事業(当館主催)

(1) ギャラリートーク(展示解説)—入館者を対象にして実施

・[館蔵]春の優品展—和と漢へのまなざし—

「大東急記念文庫のコレクション」平成 31 年 4 月 11 日(別館講堂)……………参加者 39 名

「和漢朗詠集の古筆」4 月 17 日(別館講堂)……………113 名

- 「響きあう料紙と書」 4 月 24 日 (別館講堂)73 名
「源氏物語絵巻について」 4 月 27 日、30 日、令和元年 5 月 2 日、5 日 (別館講堂)
.....計 639 名
- [館蔵]近代の日本画展
「近代日本画の世界」 5 月 16 日、6 月 13 日 (別館講堂)計 162 名
「印章の魅力」 5 月 21 日 (別館講堂)10 名
「海を渡った人と書物」 6 月 5 日 (別館講堂)45 名
- [館蔵]夏の優品展—動物のかたち—
「江戸時代の学者と漢籍」 6 月 26 日 (別館講堂)44 名
「動物のかたち」 7 月 25 日 (別館講堂)48 名
「描かれた動物たち」 8 月 1 日 (別館講堂)48 名
- [館蔵]秋の優品展—筆墨の躍動—
「水墨画の基礎知識」 9 月 3 日 (別館講堂)58 名
「書誌学者の仕事」 9 月 12 日 (別館講堂)47 名
「躍動する書の歴史」 9 月 19 日 (別館講堂)65 名
「紫式部日記絵巻について」 10 月 14 日、20 日 (別館講堂)計 225 名
- [特別展]美意識のトランジション—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸—
「過渡期の京を覗いてみれば—洛中洛外図を中心に」 10 月 31 日 (別館講堂)54 名
「新素材のファッション革命—舶来木綿と毛織物」 11 月 22 日 (別館講堂)52 名
「茶の湯における茶碗の画期」 11 月 27 日 (別館講堂)100 名
「転換期の出版と文芸」 12 月 5 日 (別館講堂)52 名
- [館蔵]茶道具取合せ展
「茶道具取合せ展について」 令和 2 年 1 月 9 日、2 月 6 日 (別館講堂)計 198 名
「仕覆と名物裂」 1 月 22 日 (別館講堂)157 名
「茶の湯の包みぎれ」 2 月 11 日 (別館講堂)205 名
- [館蔵]中国の陶芸展
「中国陶磁について」 2 月 27 日 (別館講堂)43 名
※ギャラリートーク「中国陶磁について」は 3 月 25 日にも予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い中止した。

計 7 回の展示で 28 回実施 [のべ] 2,477 名参加

(2) 青少年向け普及講座

①こども美術講座—小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施

「日本画を知ろう」 令和元年 6 月 2 日 (本館集会室)計 21 名 [こども 11 / 大人 10]

「色んな筆、楽しい筆」 令和元年 8 月 4 日 (本館集会室)計 23 名 [こども 11 / 大人 12]

計 2 回実施 [のべ] 計 44 名 こども 22 名 大人 22 名参加

②小学校へ出張講義

•東久留米市立第七小学校

令和 2 年 1 月 22 日「日本画の鑑賞を通して日本の文化にふれよう」.....6 年生 86 名

③中高生向け講義

- ・東京学芸大学附属高等学校 社会見学実習(文化財の保存と教育コース)

令和2年 2月4日 「美術館学芸員について」(本館集会室)24名

(5) 団体見学および団体説明会

[館蔵]春の優品展—和と漢へのまなざし—計4団体・計136名

[館蔵]近代の日本画展計6団体・計148名

[館蔵]夏の優品展—動物のかたち—計1団体・計21名

[館蔵]秋の優品展—筆墨の躍動—計4団体・計116名

[特別展]美意識のトランジション—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸—

.....計5団体・計128名

総計=20団体・549名

(6) ミュージアム・コンサート—入館者を対象にして実施

- ・クアルテット・リゾナンツァによる弦楽四重奏演奏会=令和元年7月3日[水]

1st Violin=白井篤/2nd Violin=山口裕之/Viola=小野聡/V.Cello=山内俊輔 (敬称略)

プログラム: ハイドン 弦楽四重奏曲第75番ト長調 Op.76-1、Hob.Ⅲ-75

ヴェーバー 弦楽四重奏のための緩徐楽章ハ短調

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第9番ハ長調 Op.59-3「ラズモフスキー第3番」

入場料=3,500円(友の会3,000円) 予約制参加者190名

- ・長唄演奏会—和のこころを聴く=令和元年9月25日[水]

三味線=杵屋五三魅、東音 村尾慎三、杵屋五助、杵屋五之吉/唄=杵屋六響、東音 半田昌恵、芳村伊四妙、芳村伊四紗栄/囃子=望月秀幸、望月左太寿郎、仙波貴之/笛=福原寛 (敬称略)

プログラム: 外記猿 三曲糸の調 石橋

入場料=3,500円(友の会3,000円) 予約制参加者118名

(7) 茶室公開—入館者を対象にして実施

公開日=令和元年5月29日[水]、令和2年1月29日[水]

普段は公開を制限している茶室(古経楼・富士見亭)を特別公開、解説及び呈茶を行った。

(8) 特別閲覧

- ・長久智子氏(1名:令和元年7月30日)茜地幾何学文様包裂(白呉州台牛香合付属)他 計9件

- ・三笠景子氏(1名:令和元年8月30日)芦屋真形霰地文釜および付属品他 計3件

- ・宮武慶之氏(1名:令和元年11月2日)長次郎作赤楽茶碗 銘 夕暮および付属品 計1件

- ・岩本崇氏(1名:令和2年3月3日・3月4日)渦紋鏡他 計10件

- ・弓野隆之氏他(2名:令和2年2月26日)端溪老坑水巖琴硯他 計4件

- ・児島大輔氏(1名:令和2年2月26日)古写経手鑑「染紙帖」 計1件

3-2. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(令和2年3月31日現在)。

3-2-1. 美の友会(定員制度無し・入会した日より1年間有効)

- ・会員数=413名
- ・年会費=4,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料、資料代1回につき100円程度必要)。
- ・陶芸講座の開催(年3回の予定)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月1~3回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の収蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。
計26回実施 聴講者数 [のべ]1,463名

・工芸鑑賞シリーズⅣ「美意識のトランジション」

担当=東京国立博物館学芸研究部 福島 修(第1・2・7回)・

五島美術館学芸部 佐藤留実(第3・4・8回)・砂澤祐子(第5・6・9回)

第1回	平成31年	4月6日[土]	「移り行く東アジア」……………	聴講者52名
第2回	令和元年	5月4日[土]	「爛熟する万暦漆芸」……………	63名
第3回		6月1日[土]	「テキスタイル:素材のトランジション」……………	52名
第4回		7月6日[土]	「陣羽織:際立ちのファッション」……………	58名
第5回		9月7日[土]	「陶磁器におけるトランジショナル様式とは何か」……………	51名
第6回		10月5日[土]	「中国・朝鮮・日本の陶磁器における交流」……………	45名
第7回		12月7日[土]	「16~17世紀:転換期東アジアの漆芸」……………	37名
第8回	令和2年	2月1日[土]	「16~17世紀:貿易染織の影響」……………	45名
第9回		3月7日[土]	「16~17世紀:中国・朝鮮・日本の陶磁器の諸相」……………	

※第9回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い中止した。

・書跡鑑賞シリーズⅣ「館蔵書跡・拓本でたどる中国書道史」

担当=五島美術館学芸部 尾川明穂

第1回	平成31年	4月13日[土]	「古代文字と隷書の「用の美」」……………	聴講者71名
第2回	令和元年	6月8日[土]	「書聖・王羲之への憧れ」……………	66名
第3回		9月14日[土]	「法帖出版と「明末浪漫派」」……………	48名
第4回		12月14日[土]	「王羲之離れと近代の書」……………	41名
第5回	令和2年	2月8日[土]	「日本の書への影響」……………	39名

・古典籍鑑賞シリーズⅠ「江戸の書物でくずし字を読む」

担当＝大東急記念文庫学芸部 長田和也

第1回	令和元年	5月11日[土]	「江戸の笑い話」	聴講者 76名
第2回		7月13日[土]	「江戸の随筆」	65名
第3回		11月30日[土]	「江戸の戯作」	45名
第4回	令和2年	1月11日[土]	「江戸の手紙①」	50名
第5回		3月21日[土]	「江戸の手紙②」	

※第3回は10月12日の予定であったが、台風19号接近による臨時休館のため11月30日に振替え開催した。

※第5回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い中止した。

・絵画鑑賞シリーズⅩ「源氏絵と源氏物語絵巻」

担当＝五島美術館学芸部 下山來夏(第1～6回)・渡川直樹(第7～10回)

第1回	平成31年	4月20日[土]	「源氏絵とその系譜」	聴講者 74名
第2回	令和元年	5月18日[土]	「中世と源氏絵—絵巻・扇絵・色紙」	74名
第3回		6月15日[土]	「権力の過渡期と源氏絵—土佐光吉・狩野山楽」	51名
第4回		7月20日[土]	「古典憧憬と新たな創造—俵屋宗達・岩佐又兵衛」	58名
第5回		9月21日[土]	「源氏絵最盛期を経て—狩野探幽・土佐光起」	60名
第6回		10月19日[土]	「源氏絵の変奏—柳橋水車図屏風・見立て源氏絵ほか」	43名
第7回		12月21日[土]	「源氏絵の原点—国宝絵巻の世界」	66名
第8回	令和2年	1月18日[土]	「国宝 源氏物語絵巻 蓬生・関屋」	57名
第9回		2月15日[土]	「国宝 源氏物語絵巻 柏木」	76名
第10回		3月28日[土]	「国宝 源氏物語絵巻 横笛・鈴虫」	

※第10回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い中止した。

(2) 陶芸講座—美の友会会員を対象にして実施

*指導＝弘法窯スタッフ

下記の通り、当館第二講堂において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了(一日教室)。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成(完成品は集会室にて手渡し)。また、電動ろくろ器を使用して制作する「中級編」も同時開催。

- ・第1回＝令和元年5月25日・26日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……参加者計43名
- ・第2回＝令和元年9月28日・29日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……計37名
- ・第3回＝令和2年1月25日・26日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……計51名

[のべ] 131名参加

3-2-2. 茶の友会(定員制度・毎年度4月1日から翌年3月31日まで有効)

- ・会員数=1,500名
- ・会費=5,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

- ・第1回秋季茶会=令和元年11月14日、15日、16日、17日(4日間)……参加者計744名

*上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。

※第2回春季茶会は、令和2年3月12日、13日、14日、15日(4日間)の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

3-3. 外部との連携事業

(1) 他美術館との連携事業

- ・五文庫連携展示「特殊文庫の古典籍—知の宝庫をめぐる珠玉の名品と出会う—」

大東急記念文庫創立70周年記念特別展示の期間中(4月6日~10月20日)、神奈川県立金沢文庫(連携記念特別公開「国宝 文選集注」〈5月17日~7月15日〉・特別展「東京大学東洋文化研究所×金沢文庫 東洋学への誘い」〈7月20日~9月16日〉)、東洋文庫ミュージアム(「漢字展—4000年の旅」〈5月29日~9月23日〉)、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫(「センチュリー文化財団寄託品展覧会「本の虫・本の鬼」〈6月3日~28日〉)、静嘉堂文庫美術館(「書物にみる海外交流の歴史—本が開いた異国の扉—」〈6月22日~8月4日〉)の4つの特殊文庫と連携展示を行った。各会場にオリジナルスタンプを設置、スタンプラリーを実施するとともに、各スタンプの捺された五文庫連携展示チラシの掲示で、他会場の観覧料100円割引(静嘉堂文庫美術館は200円割引)。当館における割引利用入館者は54名。

- ・「秋の三館 美をめぐる2019」

三井記念美術館・根津美術館・五島美術館 三館合同キャンペーン(平成25年度より継続実施)。特別展「美意識のトランジション—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸—」(10月26日~12月8日)、三井記念美術館特別展「茶の湯の名碗「高麗茶碗」」(9月14日~12月1日)、根津美術館特別展「江戸の茶の湯—川上白石 生誕三百年—」(11月16日~12月23日)の会期中、各入館済み半券で他2館の入館料100円割引、3館の入館済み半券でいずれか1館の次回展覧会に無料招待した。令和元年度、当館における割引利用入館者は120名、次回展の来館者は99名。

- ・Bunkamura とのタイアップ企画

東急文化村が運営するMY Bunkamura 登録者(約55万人)を対象とした情報発信等を通じてタイアップ企画を実施し、展覧会の告知と集客促進を図った。

- ①[館蔵]春の優品展—和と漢へのまなざし—「チケットホルダー〈源氏物語絵巻 御法〉プレゼント」

応募期間 平成31年4月1日~4月14日……………応募者242名/当選者5名

②[館蔵]近代の日本画展「オリジナルポストカードプレゼント」

応募期間 平成 31 年 4 月 27 日～令和元年 5 月 1 日…………… 応募者 60 名／当選者 10 名

③[館蔵]夏の優品展—動物のかたち—「オリジナル巾着(猿柄)プレゼント」

応募期間 令和元年 6 月 1 日～6 月 16 日…………… 応募者 346 名／当選者 5 名

④[館蔵]秋の優品展—筆墨の躍動—「オリジナル懐紙プレゼント」

応募期間 令和元年 8 月 25 日～9 月 8 日…………… 応募者 127 名／当選者 10 名

⑤[特別展]美意識のトランジション「図録(美意識のトランジション)プレゼント」

応募期間 令和元年 10 月 7 日～10 月 20 日…………… 応募者 95 名／当選者 10 名

⑥[館蔵]茶道具取合せ展「リアルモチーフタオル(夕暮)プレゼント」

応募期間 令和元年 12 月 16 日～令和 2 年 1 月 5 日…………… 応募者 138 名／当選者 10 名

⑦[館蔵]中国の陶芸展「オリジナル古鏡ミラープレゼント」

応募期間 令和 2 年 2 月 5 日～2 月 18 日…………… 応募者 156 名／当選者 5 名

(2) 近隣館との連携事業

・静嘉堂文庫美術館 相互割引提携

静嘉堂文庫美術館との相互割引を継続して実施(平成 28 年 8 月 27 日より実施)。静嘉堂文庫美術館(常時)の有料入館券の半券提示で当館一般入館料から 100 円割引、当館有料入館券の半券提示で静嘉堂文庫美術館の正規入館料から 200 円を割引く。令和元年度、当館における割引利用入館者は 232 名。

・世田谷美術館 相互割引提携

世田谷美術館との相互割引を実施(平成 29 年 4 月 1 日より実施)。世田谷美術館(常時)の企画展の有料観覧券の半券提示で当館一般入館料から 100 円割引、当館有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料を団体料金(原則 200 円引き)に割引く。令和元年度、当館における割引利用入館者は 28 名。

・「せたがや3美術館めぐり」チラシ作成・配布

東急バス株式会社と協力して、東急バス 1 日乗車券を活用した「せたがや3美術館めぐり」のチラシを作成し、五島美術館、静嘉堂文庫美術館、世田谷美術館の館内をはじめ東急沿線各所で配布。

(3) 東急グループとの連携事業

・特別鑑賞会「東急グループ感謝のつどい」

平成 31 年 4 月 22 日 特別展示、抹茶席(呈茶)他(本館展示室・茶室・庭園)……………参加者 261 名

・東急株式会社(東京急行電鉄株式会社)主催「東急ロイヤルクラブ」特別貸切鑑賞会

特別展示[国宝]源氏物語絵巻

平成 31 年 4 月 29 日 解説(集会室)・特別鑑賞(展示室 2)……………参加者 18 名

特別展示[国宝]紫式部日記絵巻

- 令和元年 10 月 18 日 解説(集会室)・特別鑑賞(展示室 1) 参加者 15 名
- ・東急株式会社(東京急行電鉄株式会社)主催「東急ロイヤルクラブ」特別鑑賞デー
令和元年 7 月 19 日 参加者 417 名
令和 2 年 1 月 16 日 参加者 283 名
- ・東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム〈美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう!〉」
令和元年 12 月 15 日 解説・茶道体験(茶室・別館講堂) 参加者 18 名
- ・オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ vol.15〈お茶の世界に浸る
抹茶&ねりきり講座〉」
令和 2 年 2 月 9 日 茶道具レクチャー・茶道体験(別館講堂・第二講堂) 参加者 24 名

(4) 大学との連携事業

・共立女子大学との連携事業

文化財保護・保存を推進し、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的として、共立女子大学との連携事業を実施。令和元年度は、「藤に馬 橋本関雪筆」収納袋の新規作成検討・制作を行った。

3-4. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第 1 条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った(実習生 3 大学 3 名)。

- ・期間＝令和元年 11 月 6 日～19 日 計 12 日間(11 日・18 日休)
- ・実習生＝清泉女子大学 文学部 日本語日本文学科 1 名
学習院大学 文学部 哲学科 1 名
十文字学園女子大学 人間生活学部 1 名

3-5. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

当館理事会(令和元年 6 月 4 日、令和 2 年 3 月 10 日)、当館主催「こども美術講座」(令和元年 6 月 2 日他)、当館主催「陶芸講座」参加者作品展観(令和元年 5 月 25 日・26 日他)、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用。

(2) 別館講堂

当館主催「講演会」(令和元年 9 月 8 日他)、当館主催「ギャラリートーク」(平成 31 年 4 月 11 日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(毎月 1～3 回)、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会(令和元年 11 月 14 日～17 日)、当館主催「ミュージアム・コンサート」(令和元年 7 月 3 日、9 月 25 日)、東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム」(令和元年 12 月 15 日)、オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ」(令和 2 年 2 月 9 日)、茶の湯文化学会例会(令和元年 7 月 27 日他)、書芸文化院主催「平安書道研究会」(令和元年 10 月 27 日他)などに使用。

(3) 第二講堂(見晴荘)

当館主催「陶芸講座」(令和元年5月25日・26日他)、当館主催「茶の友会茶会」の点心席(令和元年11月14日～17日)、オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ」(令和2年2月9日)、その他一般の茶会の点心席などに使用。

(4) 茶室(古経楼、富士見亭)

当館主催「茶の友会茶会」(令和元年11月14日～17日)、「茶室特別公開」(令和元年5月29日、令和2年1月29日)、東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム」(令和元年12月15日)、その他一般の茶会などに使用。

4. その他

4-1. その他の協力事業および会議等への派遣

(1) ICOM 日本委員会 2019 年度総会への参加(館長、令和元年5月17日)、ICOM 国際博物館会議 京都大会への参加(館長、令和元年9月2日～4日)。

(2) 第 68 回 全国美術館会議総会への参加(館長、令和元年5月22日、23日)。

(3) 令和元年度 全国博物館長会議(第 26 回)への参加(館長、令和元年7月3日)。

(4) 東京の美術館・博物館等共通入館券(ぐるっとパス)2018 実行委員会第 2 回総会への参加(館長、令和元年7月24日)、東京の美術館・博物館等共通入館券(ぐるっとパス)2020 実行委員会の副委員長として館長が第 1 回総会に出席(令和元年12月13日)。

(5) 令和元年度 私立美術館会議分科会(館長他 1 名、令和元年7月30日)、令和元年度 私立美術館会議総会への参加(館長他 1 名、令和元年11月11日)。

(6) 令和元年度第 1 回 東京都博物館協議会総会・令和元年度第 1 回 日本博物館協会東京支部総会への参加(館長、令和元年7月31日)、令和元年度第 2 回 東京都博物館協議会総会・令和元年度第 2 回 日本博物館協会東京支部総会への参加(館長、令和2年1月29日)。

(7) 第 67 回 全国博物館大会 京都大会への参加(館長、令和元年9月5日)。

(8) 公益財団法人小堀遠州顕彰会の理事として館長が理事会に出席(令和元年5月10日、令和2年2月17日)。

(9) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が理事会(令和元年5月31日、令和2年3月16日)および評議員会(令和元年6月18日)に出席。

(10) 公益財団法人東京オペラシティ文化財団の評議員として館長が評議員会に出席(令和元年6月24日、令和2年3月5日)。

(11) 公益財団法人日本博物館協会の依頼により、美術品梱包輸送技能取得士認定試験委員会に副館長が出席(令和元年4月24日)、同試験に関わる審査員として学芸員を派遣(令和2年2月15日)。

- (12) 一般社団法人書芸文化院の理事として副館長が理事会に出席(令和元年 5 月 19 日)。
- (13) 一般財団法人筆の里振興事業団の理事として副館長が理事会に出席(令和元年 5 月 29 日)。
- (14) 独立行政法人国立文化財機構 外部評価委員会に副館長が出席(令和元年 5 月 30 日)。
- (15) 公益財団法人高梨学術奨励基金の評議員として副館長が評議員会に出席(令和元年 6 月 18 日)。
- (16) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (17) 京都造形芸術大学の依頼により、学芸員を芸術学部通信教育部の非常勤講師として派遣。
- (18) 國學院大學の依頼により、学芸員を書道史の非常勤講師として派遣。
- (19) 獨協大学の依頼により、学芸員を国際教養学部の非常勤講師として派遣。
- (20) 静嘉堂文庫美術館の依頼により、同館へ染織調査指導として学芸員を派遣(令和元年 5 月 31 日、6 月 7 日)。
- (21) 静嘉堂文庫美術館の依頼により、展覧会の広報イベントおよび講演会講師として学芸員を派遣(令和元年 11 月 3 日、12 月 1 日)。
- (22) 円覚寺の依頼により染織文化財の悉皆調査に学芸員を派遣(令和元年 11 月 19 日)。
- (23) 一般財団法人イセ文化財団他主催「第 20 回ハッピーイースター卵あそびコンテスト」審査委員として学芸員を派遣(令和元年 8 月 5 日)。
- (24) 第 11 回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナーへの参加(令和元年 6 月 24 日～28 日)。
- (25) 第 66 回日本伝統工芸展(全国 11 都市にて開催、会期＝令和元年 9 月～令和 2 年 3 月)副賞に協賛。
- (26) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。

4-2. 学会・研究会

- (1) 茶の湯文化学会東京例会(令和元年 7 月 27 日)、国際シンポジウム「中世日中韓陶磁窯場の構造と生産体制」(令和元年 10 月 7 日)にて、研究成果を発表。
- (2) 二国間共同美術史研究会にコメンテーターとして参加(令和元年 12 月 18 日)。
- (3) 美術史学会、書学書道史学会、全国博物館学会、東洋陶磁学会、茶の湯文化学会、全国美術館会議、全国博物館長会議、私立美術館会議(以上大会及び例会)に出席。
- (4) 日本貿易陶磁研究会研究集会、源氏絵データベース研究会、茶書研究会、書論研究会、近代金石研究会、日本書道史研究会、韓国・朝鮮文化研究会、朝鮮史料研究会に参加。

[2] 大東急記念文庫(公益目的事業②)

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行った。
- (2) 収蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期し、予防策として IPM を実施した。
- (4) 不慮の災害に備え、写真撮影による副本作りを行った。令和元年度は、『大般若波羅蜜多經』等を撮影した。

2. 図書修理

『大毗盧遮那經疏』卷第十六・十七(寛治二年写、築島裕氏寄贈)二帖の修理(平成29年度開始)が完了し、納庫した。本資料に関する修理費総額は994,600円(消費税別、平成29・30年度計上)。

3. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
本年度は購入しなかった。
- (3) 古典籍参考資料
「吉原細見」(文化13年正月刊)を購入した。

4. 図書調査

- (1) 国文学研究資料館の依頼により、最明寺(神奈川県足柄上郡)の資料調査を行なった。
- (2) 国文学研究資料館の「日本古典籍の比較書誌学的研究」について、九州国立博物館(福岡県太宰府市)・九州大学附属図書館(福岡県福岡市)・祐徳博物館(佐賀県鹿島市)・福源寺(佐賀県鹿島市)の資料調査を行った。
- (3) 国文学研究資料館の基盤研究A「日本古典籍における表記情報学の発展的研究」について、総本山善通寺(香川県善通寺市)の資料調査を行った。

5. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		22	24	22	26	5	25	21	26	15	23	21	1	231日
閲覧者数		3	5	7	7	3	10	7	12	3	9	5	5	76人
閲覧図書	国書	2	2	19	30	4	6	9	98	1	19	1	2	193点
	漢籍	0	3	11	2	1	4	2	2	2	2	6	0	35点
	仏書	1	1	7	1	4	1	16	2	0	26	1	4	64点
	その他	3	0	0	0	5	6	11	4	0	3	5	0	37点
計		6	6	37	33	14	17	38	106	3	50	13	6	329点

(2) 団体閲覧

- ・令和元年 10 月 20 日 慶應義塾大学大学院生ほか(53 点／於集会室)……………18 名

6. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・『狩谷栞斎と経籍訪古志—大東急記念文庫所蔵の漢籍から』(令和元年 6 月 10 日発行)
- ・機関誌「かがみ」第 50 号 創立 70 周年記念特集号(令和 2 年 3 月 31 日発行)
- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)—継続刊行中
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全 18 巻別巻 1 巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」(丸善雄松堂)

7. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・藤原為臣編『藤原定家全歌集』昭和 49 年、国書刊行会 1 冊(宇野公容氏)
- ・『漢文訓讀史の研究Ⅸ』1 冊(小林芳規氏)
- ・『東京市史稿 産業篇 第六十』1 冊(東京都公文書館)
- ・『東大寺叢書 1 東大寺要録一』『同 2 東大寺要録二』各 1 冊(東大寺)
- ・『磧砂版大蔵経目録 第七冊』『同 第八冊』各 1 冊(杏雨書屋)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

- ・各種団体
文化庁、亀岡市文化資料館、板橋区立郷土資料館、立川市、奈良県立万葉文化館等
- ・出版社等
和泉書院、戎光祥出版、三省堂、新学社、日本放送協会、勉誠出版、法藏館、毎日新聞社、山川出版社等
- ・個人
研究者等 2 名

8. 展示

(1) 他所への貸出

- ・埼玉県立歴史と民俗の博物館……………「鎌倉時代縁起残欠」／計 1 件
特別展「東国の地獄極楽」(期間＝平成 31 年 3 月 16 日～令和元年 5 月 6 日)
- ・兵庫県立美術館……………「暁斎絵日記」／計 1 件
特別展「没後 130 年 河鍋暁斎」(期間＝平成 31 年 4 月 6 日～令和元年 5 月 19 日)

- ・横浜美術館……………重要文化財「寒山図」／計 1 件
開館 30 周年記念「生誕 150 年・没後 80 年記念 原三溪の美術 伝説の大コレクション」
(期間＝令和元年 7 月 13 日～9 月 1 日)

- ・徳川美術館・名古屋市蓬左文庫……………「関ヶ原合戦絵巻」／計 1 件
特別展「合戦図—もののふたちの勇姿を描く—」(期間＝令和元年 7 月 27 日～9 月 8 日)

計 4ヶ所 4 件

(2) 五島美術館への出陳

- ・[館蔵]春の優品展—和と漢へのまなざし—
……………重要文化財「手鑑」・重要文化財「北野天神縁起絵巻断簡(弘安本)」他／計 13 件
- ・[館蔵]近代の日本画展
……………「相撲人物素描 橋本雅邦筆」／計 1 件
- ・[館蔵]夏の優品展—動物のかたち—
……………「四季花鳥図屏風 尾形乾山筆」・赤本「鼠の嫁入り」・「蟹譜七十五品図」他／計 7 件
- ・[館蔵]秋の優品展—筆墨の躍動—
……………「旅絵日記 狩野探幽筆」・「画学斎過眼図藁 谷文晁筆」／計 2 件
- ・[特別展]美意識のトランジション—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸—
……………「小倉山荘色紙和歌帖 烏丸光広筆」・「新刊 錦繡段」他／計 9 件
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
……………「豊臣秀吉消息 お祢宛」・「武野宗瓦消息」・「茶室起絵図」／計 3 件

(3) 大東急記念文庫創立 70 周年記念特別展示

(7 頁 1-3.大東急記念文庫創立 70 周年記念特別展示参照)

- ・[第 1 部]大東急記念文庫の精華—絵画、古写経、書物、名家の筆跡—
……………国宝「六祖挾担図」・重要文化財「因明論疏」・重要文化財「越前国田使解」他／計 20 件
- ・[第 2 部]海外との交流—無学祖元、王陽明の墨跡や高僧像—
……………重要文化財「高僧像」・重要文化財「唐大和上東征伝」・「了庵桂悟頂相」他／計 25 件
- ・[第 3 部]書誌学展Ⅰ 経籍訪古志の名品を中心に—国宝「史記」をはじめとする漢籍—
……………国宝「史記」・特別出品「清客筆話(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵)」他／計 26 件
- ・[第 4 部]書誌学展Ⅱ 近代そして現代へ—嵯峨本、五山版の名品と古辞書—
……………重要文化財「幼学指南鈔」・「伊勢物語 嵯峨本」・特別出品「小面(長山桂三師蔵)」他／計 33 件

9. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

- (1) 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として国文学関係資料の調査に協力した。
- (2) 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の基盤研究 A「日本古典籍における表記情報学の発展的研究」について、「日本古典籍の比較書誌学的研究」第 2 回研究会に参加・発表した。
- (3) 早稲田大学の依頼により、学芸員を文化構想学部の非常勤講師として派遣。

10. その他

[大東急記念文庫創立 70 周年記念関連]

- 大東急記念文庫の創立 70 周年を記念し、「展示室 2」において文庫のコレクションの特別展示を 4 部に分けて行い、記念イベントとして講演会とワークショップを開催した(7 頁 1-3.大東急記念文庫創立 70 周年記念特別展示参照)。
- 特別展示の期間中、神奈川県立金沢文庫、東洋文庫ミュージアム、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、静嘉堂文庫美術館)の他の 4 つの特殊文庫との連携展示を催し(14 頁 3-3.外部との連携事業(1)参照)、識者も交え座談会を行った。
- 特別展示の第 3 部「書誌学展 I 経籍訪古志の名品を中心に一国宝「史記」をはじめとする漢籍一」に関連して文庫所蔵漢籍名品図録『狩谷棧斎と経籍訪古志一大東急記念文庫所蔵の漢籍から』を発行した(令和元年 6 月 10 日発行)。
- 日本近世文学会令和元年度春季大会(令和元年 6 月 8 日～10 日)にて、研究成果を発表。

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目				当年度	前年度	増 減	
I 資産の部							
1. 流動資産							
現金預金				28,089,374	46,739,025	△	18,649,651
未収金				3,618,858	2,624,409		994,449
前払金				4,004,200	2,271,781		1,732,419
棚卸資産				28,405,790	24,864,483		3,541,307
有価証券				1,864,596	7,764,596	△	5,900,000
仮払金				14,294	43,200	△	28,906
流動資産合計				65,997,112	84,307,494	△	18,310,382
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
土地			地	1,139,685,568	1,139,685,568		0
建物			物	1,222,137,846	1,291,773,540	△	69,635,694
立木			木	1,000,000	1,000,000		0
美術品		術典	品	1,139,435,206	1,136,631,000		2,804,206
古書籍			籍	133,690,570	133,405,570		285,000
什器備品			品	1,568,002	2,156,002	△	588,000
投資有価証券			券	728,359,057	728,359,057		0
基本財産合計				4,365,876,249	4,433,010,737	△	67,134,488
(2) 特定資産							
積立預金			金	96,500,000	96,000,000		500,000
特定資産合計				96,500,000	96,000,000		500,000
(3) その他固定資産							
美術品		術典	品	194,959,325	194,959,325		0
古書籍			籍	33,000	0		33,000
什器備品			品	7,677,619	12,234,221	△	4,556,602
ソフトウェア			ア	4,606,496	1,657,698		2,948,798
保証金		証	金	50,000	50,000		0
その他固定資産合計				207,326,440	208,901,244	△	1,574,804
固定資産合計				4,669,702,689	4,737,911,981	△	68,209,292
資産合計				4,735,699,801	4,822,219,475	△	86,519,674
II 負債の部							
1. 流動負債							
未払金			金	8,748,434	4,787,819		3,960,615
前受金			金	7,470,000	6,535,000		935,000
預り金			金	1,931,515	1,979,280	△	47,765
流動負債合計				18,149,949	13,302,099		4,847,850
2. 固定負債							
退職給付引当金			金	3,799,059	4,486,262	△	687,203
固定負債合計				3,799,059	4,486,262	△	687,203
負債合計				21,949,008	17,788,361		4,160,647
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
指定正味財産合計				3,732,449,190	3,798,495,678	△	66,046,488
(うち基本財産への充当額)				(3,635,949,190)	(3,702,495,678)	(△	66,546,488)
(うち特定資産への充当額)				(96,500,000)	(96,000,000)	(	500,000)
2. 一般正味財産				981,301,603	1,005,935,436	△	24,633,833
(うち基本財産への充当額)				(729,927,059)	(730,515,059)	(△	588,000)
正味財産合計				4,713,750,793	4,804,431,114	△	90,680,321
負債及び正味財産合計				4,735,699,801	4,822,219,475	△	86,519,674

財産目録

令和 2 年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	3,488,537
	預金	普通預金	運転資金	24,229,565
		みずほ上野毛①		22,810,279
		みずほ上野毛②		926,173
		みずほ上野毛③		305,632
		三菱UFJ玉川①		187,481
		定期預金	運転資金	371,272
		三菱UFJ定期		371,272
	未収金		売掛金	3,618,858
	前払金		次年度展覧会準備費用	4,004,200
	棚卸資産		図録・ショップ商品	28,405,790
	有価証券			1,864,596
	仮払金			14,294
流動資産合計				65,997,112
(固定資産)				
基本財産				
基本財産	土地	世田谷区上野毛3-9-25		4,365,876,249
	土地(指定)	19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的 目的事業及び管理運営の用に供して いる。	1,139,685,568
	建物			1,222,137,846
	建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・ 陶芸教室	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業及び管理運営の用に供して いる。	1,222,137,846
	立木			1,000,000
	立木(指定)	樹木・石造物	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業の用に供している。	1,000,000
	美術品			1,139,435,206
	美術品(指定)	美術工芸品 2,619件	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業の用に供している。	1,139,435,206
	古典籍			133,690,570
	古典籍(指定)	古典籍 22,125冊	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業の用に供している。	133,690,570
	什器備品			1,568,002
	什器備品(一般)	展示用備品・收藏棚	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業及び管理運営の用に供して いる。	1,568,002
	投資有価証券			728,359,057
	投資有価証券(一般)	国債・地方債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を 公益目的事業の財源としている。	728,359,057
	特定資産			96,500,000
	積立預金			96,500,000
	積立預金(指定)	三菱UFJ・みずほ	公益目的事業及び管理運営のため の資産である。	96,500,000
其他固定資産				207,326,440
其他固定資産	美術品	美術工芸品	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業の用に供している。	194,959,325
	古典籍	古典籍 1冊	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業の用に供している。	33,000
	什器備品	パソコン・事務機器	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業及び管理運営の用に供して いる。	7,677,619
	ソフトウェア	源氏物語絵巻ビデオ・事 務機器	公益目的保有財産であり、公的目 的の事業及び管理運営の用に供して いる。	4,606,496
	保証金			50,000
固定資産合計				4,669,702,689
資産合計				4,735,699,801
(流動負債)				
(流動負債)	未払金		売掛金	8,748,434
	前受金		次年度茶の友会会費	7,470,000
	預り金		社会保険料	1,931,515
流動負債合計				18,149,949
(固定負債)				
(固定負債)	退職給付引当金			3,799,059
固定負債合計				3,799,059
負債合計				21,949,008
正味財産				4,713,750,793

予算対比正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用 益	[11,530,000]	[10,279,893]	[1,250,107]
特 定 資 産 運 用 益	[10,000]	[0]	[10,000]
公 益 事 業 収 益	[137,354,000]	[103,841,325]	[33,512,675]
受 取 補 助 金 等	[1,740,000]	[1,740,000]	[0]
受 取 寄 付 金	[216,692,000]	[212,875,626]	[3,816,374]
雑 収 益	[70,000]	[188,580]	[△ 118,580]
経常収益計	367,396,000	328,925,424	38,470,576
(2) 経常費用			
事 業 費	[341,081,000]	[326,970,856]	[14,110,144]
管 理 費	[27,692,000]	[26,588,400]	[1,103,600]
経常費用計	368,773,000	353,559,256	15,213,744
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,377,000	△ 24,633,832	23,256,832
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,377,000	△ 24,633,832	23,256,832
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受 取 寄 付 金 振 替	[0]	[955,862]	[△ 955,862]
経常外収益計	0	955,862	△ 955,862
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	[0]	[955,863]	[△ 955,863]
指 定 正 味 財 産 へ 振 替	[3,400,000]	[0]	[3,400,000]
経常外費用計	3,400,000	955,863	2,444,137
当期経常外増減額	△ 3,400,000	△ 1	△ 3,399,999
当期一般正味財産増減額	△ 4,777,000	△ 24,633,833	19,856,833
一般正味財産期首残高	1,005,935,436	1,005,935,436	0
一般正味財産期末残高	1,001,158,436	981,301,603	19,856,833
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[0]	[3,941,876]	[△ 3,941,876]
一 般 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[3,400,000]	[0]	[3,400,000]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 69,692,000]	[△ 69,988,364]	[296,364]
当期指定正味財産増減額	△ 66,292,000	△ 66,046,488	△ 245,512
指定正味財産期首残高	3,798,495,678	3,798,495,678	0
指定正味財産期末残高	3,732,203,678	3,732,449,190	△ 245,512
III 正味財産期末残高	4,733,362,114	4,713,750,793	19,611,321

予算対比正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基 本 財 産 運 用 益	[11,530,000]	[10,279,893]	[1,250,107]
基 本 財 産 受 取 利 息	9,426,000	7,674,513	1,751,487
基 本 財 産 受 取 配 当	2,104,000	2,605,380	△ 501,380
特 定 資 産 運 用 益	[10,000]	[0]	[10,000]
特 定 資 産 受 取 利 息	10,000	0	10,000
公 益 事 業 収 益	[137,354,000]	[103,841,325]	[33,512,675]
展 示 事 業 収 益	57,038,000	42,269,592	14,768,408
調 査 研 究 事 業 収 益	7,670,000	5,140,528	2,529,472
普 及 事 業 収 益	20,500,000	10,197,900	10,302,100
文 庫 事 業 収 益	1,700,000	822,670	877,330
カ レ ン ダ ー 収 益	40,346,000	37,945,604	2,400,396
売 店 収 益	10,100,000	7,465,031	2,634,969
受 取 補 助 金 等	[1,740,000]	[1,740,000]	[0]
受 取 国 庫 補 助 金	1,200,000	1,200,000	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	540,000	540,000	0
受 取 寄 付 金	[216,692,000]	[212,875,626]	[3,816,374]
受 取 寄 付 金	147,000,000	143,843,124	3,156,876
受 取 寄 付 金 振 替 額	69,692,000	69,032,502	659,498
雑 収 益	[70,000]	[188,580]	[△ 118,580]
受 取 利 息	50,000	4,611	45,389
有 価 証 券 運 用 益	10,000	0	10,000
雑 収 益	10,000	183,969	△ 173,969
経常収益計	367,396,000	328,925,424	38,470,576
(2) 経常費用			
事 業 費	[341,081,000]	[326,970,856]	[14,110,144]
役 員 報 酬	6,480,000	6,547,842	△ 67,842
給 料 手 当	82,739,000	83,361,559	△ 622,559
臨 時 雇 賃 金	16,633,000	12,238,682	4,394,318
退 職 給 付 費	13,130,000	14,439,518	△ 1,309,518
福 利 厚 生 費	17,174,000	15,017,086	2,156,914
会 費	346,000	23,000	323,000
旅 費	202,000	544,066	△ 342,066
交 通 費	102,000	26,100	75,900
通 信 運 搬 費	5,177,000	4,986,719	190,281
減 価 償 却 費	70,399,000	69,664,186	734,814
消 耗 什 器 備 品 費	1,556,000	1,501,304	54,696
消 耗 什 器 備 品 費	1,253,000	1,458,678	△ 205,678
修 繕 費	6,346,000	4,962,052	1,383,948
修 繕 費	2,183,000	2,732,334	△ 549,334
印 刷 製 本 費	14,258,000	10,606,575	3,651,425
宣 伝 広 告 費	8,556,000	8,590,451	△ 34,451
光 熱 水 料 費	7,290,000	7,010,055	279,945
保 險 料	864,000	829,682	34,318
諸 謝 金	150,000	0	150,000
租 税 公 課	4,662,000	4,400,700	261,300
庭 園 管 理 費	5,046,000	5,427,765	△ 381,765
委 託 費	13,475,000	12,855,155	619,845
展 覧 会 費	14,879,000	14,526,843	352,157

科 目	予算額	決算額	差 異
催 物 費	15,456,000	9,904,311	5,551,689
調 査 研 究 費	6,488,000	10,978,080	△ 4,490,080
雑 費	1,119,000	1,105,638	13,362
カ レ ン ダ ー 制 作 費	18,129,000	17,194,270	934,730
シ ョ ッ プ 原 価	6,989,000	6,038,205	950,795
管 理 費	[27,692,000]	[26,588,400]	[1,103,600]
役 員 報 酬	4,320,000	4,365,228	△ 45,228
給 料 手 当	12,121,000	12,424,674	△ 303,674
退 職 給 付 費 用	1,459,000	554,663	904,337
福 利 厚 生 費	2,843,000	2,619,945	223,055
会 費	310,000	285,638	24,362
旅 費	110,000	0	110,000
交 際 通 費	210,000	218,408	△ 8,408
通 信 運 搬 費	338,000	152,265	185,735
減 価 償 却 費	3,706,000	3,998,791	△ 292,791
消 耗 什 器 備 品 費	53,000	0	53,000
消 耗 品 費	105,000	4,257	100,743
印 刷 製 本 費	64,000	0	64,000
光 熱 水 料 費	379,000	364,627	14,373
諸 謝 金 費	1,464,000	1,599,040	△ 135,040
雑 費	210,000	864	209,136
経常費用計	368,773,000	353,559,256	15,213,744
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,377,000	△ 24,633,832	23,256,832
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,377,000	△ 24,633,832	23,256,832
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受 取 寄 付 金 振 替	[0]	[955,862]	[△ 955,862]
経常外収益計	0	955,862	△ 955,862
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	[0]	[955,863]	[△ 955,863]
指 定 正 味 財 産 へ 振 替	[3,400,000]	[0]	[3,400,000]
受 取 寄 付 金 振 替 額	3,400,000	0	3,400,000
経常外費用計	3,400,000	955,863	2,444,137
当期経常外増減額	△ 3,400,000	△ 1	△ 3,399,999
当期一般正味財産増減額	△ 4,777,000	△ 24,633,833	19,856,833
一般正味財産期首残高	1,005,935,436	1,005,935,436	0
一般正味財産期末残高	1,001,158,436	981,301,603	19,856,833
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[0]	[3,941,876]	[△ 3,941,876]
一 般 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[3,400,000]	[0]	[3,400,000]
受 取 寄 付 金 振 替 額	3,400,000	0	3,400,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 69,692,000]	[△ 69,988,364]	[296,364]
受 取 寄 付 金	△ 69,692,000	△ 69,988,364	296,364
当期指定正味財産増減額	△ 66,292,000	△ 66,046,488	△ 245,512
指定正味財産期首残高	3,798,495,678	3,798,495,678	0
指定正味財産期末残高	3,732,203,678	3,732,449,190	△ 245,512
III 正味財産期末残高	4,733,362,114	4,713,750,793	19,611,321

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位: 円)

科 目	公益事業会計				法人会計	合計
	美術館	文庫	公益共通事業	小計	法人	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産受取利息	[0]	[0]	[10,279,893]	[10,279,893]	[0]	[10,279,893]
基本財産受取配当	0	0	7,674,513	7,674,513	0	7,674,513
公益事業収益	[103,017,079]	[824,246]	[0]	[103,841,325]	[0]	[103,841,325]
展示事業収益	0	0	0	0	0	0
調査研究事業収益	5,140,528	0	0	5,140,528	0	5,140,528
普及事業収益	10,197,900	0	0	10,197,900	0	10,197,900
文庫事業収益	8,985	813,685	0	822,670	0	822,670
カレンダー一収	37,945,604	0	0	37,945,604	0	37,945,604
売店収	7,454,470	10,561	0	7,465,031	0	7,465,031
受取補助金等	[1,740,000]	[0]	[0]	[1,740,000]	[0]	[1,740,000]
受取国庫補助金	1,200,000	0	0	1,200,000	0	1,200,000
受取地方公共団体補助金	540,000	0	0	540,000	0	540,000
受取寄附金	[62,129,252]	[3,451,625]	[119,843,124]	[185,424,001]	[27,451,625]	[212,875,626]
受取寄付金	0	0	119,843,124	119,843,124	24,000,000	143,843,124
受取寄付金振替額	62,129,252	3,451,625	0	65,580,877	3,451,625	69,032,502
雑収	[82,597]	[0]	[4,611]	[87,208]	[101,372]	[188,580]
雑収利息	0	0	4,611	4,611	0	4,611
雑収	82,597	0	0	82,597	101,372	183,969
経常収益計	166,968,928	4,275,871	130,127,628	301,372,427	27,552,997	328,925,424
(2) 経常費用						
役員報酬	[291,537,578]	[35,432,414]	[864]	[326,970,856]	[0]	[326,970,856]
給料	6,547,842	0	0	6,547,842	0	6,547,842
臨時雇賃金	69,575,276	13,786,283	0	83,361,559	0	83,361,559
退職給付費用	12,238,682	0	0	12,238,682	0	12,238,682
福利厚生費	2,628,948	11,810,570	0	14,439,518	0	14,439,518
旅費交通費	12,168,412	2,848,674	0	15,017,086	0	15,017,086
通信運搬費	23,000	0	0	23,000	0	23,000
減価償却費	538,042	6,024	0	544,066	0	544,066
消耗什器備品費	26,100	0	0	26,100	0	26,100
消耗品費	4,829,585	156,169	864	4,986,719	0	4,986,719
修理費	65,079,445	3,584,740	0	69,664,185	0	69,664,185
印刷製本費	1,501,304	0	0	1,501,304	0	1,501,304
宣伝費	1,412,083	46,595	0	1,458,678	0	1,458,678
光熱水料費	4,728,016	234,036	0	4,962,052	0	4,962,052
保険料	2,732,334	0	0	2,732,334	0	2,732,334
租税公課	10,232,411	374,164	0	10,606,575	0	10,606,575
庭園管理費	8,557,451	33,000	0	8,590,451	0	8,590,451
委託費	6,645,428	364,627	0	7,010,055	0	7,010,055
展覧会費	829,682	0	0	829,682	0	829,682
調査研究費	4,365,494	35,206	0	4,400,700	0	4,400,700
カレンダー制作費	5,427,765	0	0	5,427,765	0	5,427,765
シヨッパ原価	12,855,155	0	0	12,855,155	0	12,855,155
管 理 費	14,476,228	50,615	0	14,526,843	0	14,526,843
給 料	9,694,215	210,096	0	9,904,311	0	9,904,311
退職給付費用	9,088,733	1,889,347	0	10,978,080	0	10,978,080
福利厚生費	1,103,370	2,268	0	1,105,638	0	1,105,638
旅費交通費	17,194,270	0	0	17,194,270	0	17,194,270
通信運搬費	6,038,205	0	0	6,038,205	0	6,038,205
減価償却費	[0]	[0]	[0]	[0]	[26,588,400]	[26,588,400]
消耗什器備品費	0	0	0	0	4,365,228	4,365,228
消耗品費	0	0	0	0	12,424,674	12,424,674
修理費	0	0	0	0	554,663	554,663
印刷製本費	0	0	0	0	2,619,945	2,619,945
宣伝費	0	0	0	0	285,638	285,638
光熱水料費	0	0	0	0	218,408	218,408
保険料	0	0	0	0	152,265	152,265
租税公課	0	0	0	0	3,998,791	3,998,791
庭園管理費	0	0	0	0	4,257	4,257
委託費	0	0	0	0	364,627	364,627
展覧会費	0	0	0	0	1,599,040	1,599,040
調査研究費	0	0	0	0	864	864
経常費用計	291,537,578	35,432,414	864	326,970,856	26,588,400	353,559,256
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 124,568,650	△ 31,156,543	130,126,764	△ 25,598,429	964,597	△ 24,633,832
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 124,568,650	△ 31,156,543	130,126,764	△ 25,598,429	964,597	△ 24,633,832
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
受取寄附金振替	[0]	[0]	[955,862]	[955,862]	[0]	[955,862]
経常外収益計	0	0	955,862	955,862	0	955,862
(2) 経常外費用						
固定資産除却損	[0]	[0]	[955,863]	[955,863]	[0]	[955,863]
経常外費用計	0	0	955,863	955,863	0	955,863
当期経常外増減額	0	0	△ 1	△ 1	0	△ 1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 124,568,650	△ 31,156,543	130,126,763	△ 25,598,430	964,597	△ 24,633,833
当期一般正味財産増減額	△ 124,568,650	△ 31,156,543	130,126,763	△ 25,598,430	964,597	△ 24,633,833
一般正味財産期首残高	△ 1,153,041,924	△ 13,629,573	2,183,529,487	1,016,867,990	△ 10,922,554	1,005,935,436
一般正味財産期末残高	△ 1,277,610,574	△ 44,786,116	2,313,656,250	991,269,560	△ 9,957,957	981,301,603
II 指定正味財産増減の部						
受取寄附金	[0]	[285,000]	[3,656,876]	[3,941,876]	[0]	[3,941,876]
一般正味財産への振替額	[△ 62,129,252]	[△ 3,451,625]	[△ 955,862]	[△ 66,536,739]	[△ 3,451,625]	[△ 69,988,364]
受取寄附金	△ 62,129,252	△ 3,451,625	△ 955,862	△ 66,536,739	△ 3,451,625	△ 69,988,364
当期指定正味財産増減額	△ 62,129,252	△ 3,166,625	2,701,014	△ 62,594,863	△ 3,451,625	△ 66,046,488
指定正味財産期首残高	1,174,631,000	133,405,570	2,512,597,526	3,820,634,096	△ 22,138,418	3,798,495,678
指定正味財産期末残高	1,112,501,748	130,238,945	2,515,298,540	3,758,039,233	△ 26,590,043	3,732,449,190
III 正味財産期末残高	△ 165,108,826	85,452,829	4,828,954,790	4,749,298,793	△ 35,548,000	4,713,750,793

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[10,279,893]	[11,490,389]	[△ 1,210,496]
公益事業収益	[103,841,325]	[129,800,740]	[△ 25,959,415]
受取補助金等	[1,740,000]	[0]	[1,740,000]
受取寄付金	[212,875,626]	[199,001,423]	[13,874,203]
雑収益	[188,580]	[307,203]	[△ 118,623]
経常収益計	328,925,424	340,599,755	△ 11,674,331
(2) 経常費用			
事業費	[326,970,856]	[314,622,806]	[12,348,050]
管理費	[26,588,400]	[28,447,889]	[△ 1,859,489]
経常費用計	353,559,256	343,070,695	10,488,561
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 24,633,832	△ 2,470,940	△ 22,162,892
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 24,633,832	△ 2,470,940	△ 22,162,892
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金振替	[955,862]	[0]	[955,862]
経常外収益計	955,862	0	955,862
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[955,863]	[3]	[955,860]
指定正味財産へ振替	[0]	[4,787,480]	[△ 4,787,480]
経常外費用計	955,863	4,787,483	△ 3,831,620
当期経常外増減額	△ 1	△ 4,787,483	4,787,482
当期一般正味財産増減額	△ 24,633,833	△ 7,258,423	△ 17,375,410
一般正味財産期首残高	1,005,935,436	1,013,193,859	△ 7,258,423
一般正味財産期末残高	981,301,603	1,005,935,436	△ 24,633,833
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[3,941,876]	[150,000]	[3,791,876]
一般正味財産からの振替額	[0]	[4,787,480]	[△ 4,787,480]
一般正味財産への振替額	[△ 69,988,364]	[△ 68,971,423]	[△ 1,016,941]
当期指定正味財産増減額	△ 66,046,488	△ 64,033,943	△ 2,012,545
指定正味財産期首残高	3,798,495,678	3,862,529,621	△ 64,033,943
指定正味財産期末残高	3,732,449,190	3,798,495,678	△ 66,046,488
III 正味財産期末残高	4,713,750,793	4,804,431,114	△ 90,680,321

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券等の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。

(4) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,291,773,540	535,280	70,170,974	1,222,137,846
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,136,631,000	2,804,206		1,139,435,206
古典籍	133,405,570	285,000		133,690,570
什器備品	2,156,002		588,000	1,568,002
投資有価証券	728,359,057	194,100,000	194,100,000	728,359,057
小計	4,433,010,737	197,724,486	264,858,974	4,365,876,249
(特定資産)				
積立預金	96,000,000	114,000,000	113,500,000	96,500,000
小計	96,000,000	114,000,000	113,500,000	96,500,000
合計	4,529,010,737	311,724,486	378,358,974	4,462,376,249

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,222,137,846	1,222,137,846		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,139,435,206	1,139,435,206		
古典籍	133,690,570	133,690,570		
什器備品	1,568,002		1,568,002	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,365,876,249	3,635,949,190	729,927,059	0
(特定資産)				
積立預金	96,500,000	96,500,000		
小計	96,500,000	96,500,000	0	0
合計	4,462,376,249	3,732,449,190	729,927,059	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,439,289,950	1,217,152,104	1,222,137,846
什器備品(基本財産)	42,126,653	40,558,651	1,568,002
什器備品(その他固定資産)	83,764,956	76,087,337	7,677,619
ソフトウェア	7,381,908	2,775,412	4,606,496
合計	2,572,563,467	1,336,573,504	1,235,989,963

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	1,864,596	1,901,178	36,582
投資有価証券	728,359,057	941,967,571	213,608,514
合計	730,223,653	943,868,749	213,645,096

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,486,262	3,799,059	4,486,262	0	3,799,059

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国宝重要文化財等 保存整理費補助金	文化庁	0	1,200,000	1,200,000	0	-
国宝重要文化財等 保存整理費補助金	東京都	0	540,000	540,000	0	-
合計		0	1,740,000	1,740,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	69,032,502
経常外収益への振替額	
建物除却による指定解除	955,862
合計	69,988,364

9. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部分を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用する。なお、テリパディブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。

令和2年5月18日

監 査 報 告 書

私たち監事は、平成31年度（令和元年度）における公益財団法人五島美術館の業務執行状況、及び会計帳簿並びにこれに関する資料に付き監査いたしました。その結果、正味財産増減計算書、貸借対照表及びその付属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認めます。

また事業報告の内容は真実であると認めます。

その他、理事の職務状況に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認めます。

公益財団法人 五島美術館

監事 柳 信 雄 

監事 秋 元 直 久 